

## 公益社団法人石油学会 平成24年度 事業計画

### 【公益目的事業】

石油、天然ガス、石油化学工業及びこれらに係わる資源、エネルギー、環境に関する分野の学術並びに技術の調査・研究を推進し、これらの成果を会誌、講演会、ホームページ等で公開し、石油及び周辺エネルギーに関する知見を広め、さらに資格付与、研究発表会・討論会、研究助成及び表彰事業により、研究者・技術者を奨励し研究・技術の向上を図り、本分野における学術・科学技術の一層の発展とエネルギーの安定供給を目指す事業を行う。

### 1. 調査・研究事業の推進

#### 1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展、石油・エネルギーの安定供給及び地球環境の保全を図るため、学会内に7つの部会（資源、精製、石油化学、製品、装置、経営情報、新エネルギー）を始めとし、支部、JPIJS（若手会）、委員会にて調査・研究を行う。

##### 1-1-1 部会活動

###### (1) 製品部会

- 1) ガソリン分科会で、第38回CFRオクタン価照合試験を実施する。
- 2) アスファルト分科会で、舗装用アスファルトの品質基準の検討を行う。
- 3) 絶縁油分科会で以下の活動を行う。
  - a) 絶縁油関連の文献を調査し、最新情報の共有化を図る。
  - b) エステル系絶縁油に関する文献調査、検討を行う。
  - c) 絶縁油の硫化腐食について文献調査、検討を行う。
  - d) 絶縁油に関する勉強会を実施する。
- 4) 試験分析分科会で以下の活動を行う。
  - a) XRFによる潤滑油製品中の金属元素分析方法及び硫黄分の分析方法について検討する。
  - b) 放射線式励起法による硫黄分分析方法について検討を行う。
  - c) 試験分析に関する勉強会を実施する。

###### (2) 装置部会

- 1) 分科会、専門委員会において担当の分野に関連した委員会内講演会、勉強会、情報交換会、見学会を企画、実施する。
- 2) 保安分科会では各社の環境・安全に対する取り組みの実態・問題点を調査し、活動指針を作成する。

###### (3) 経営情報部会

- 1) ワーキンググループ「20年後の日本のエネルギー需給構造～シナリオプランニングによる未来予想図～」を設置し、調査・検討を行い、年度末に活動成果報告会を開催する。
- 2) 部会内講演会を企画し、実施する。

###### (4) 新エネルギー部会

特に次世代のバイオマス燃料について、情報収集を行う。

##### 1-1-2 受託、参加事業

- (1) (一財)石油エネルギー技術センター(JPEC)が実施する重質油等高度対応処理技術開発事業のうち、「ペトロリオミクス技術開発」の調査を実施する。
- (2) (財)国際石油交流センターが実施する産油国等石油精製・利用技術国際共同研究のうち、①産油国連携合同研究セミナー（第22回日本-サウジアラビア合同セミナー、第14回日本-クウェート合同セミナー）、②産油国等研究者の受入事業に参加し、調査・研究等を実施する。

## 1-2. 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を広くかつ様々な形で公開・普及に努めていくことにより、石油及び周辺エネルギーについて広く国民が関心を持ち、石油資源の理解と有効利用・活用を広めるとともに本分野の研究者・技術者のすそ野の拡大を図る。さらに、本会における最新の調査・研究の成果を公開し、普及に努めていくことは、一層の学術の振興を図るとともに、本分野に携わる技術者の育成にもつながり、製油所の安定・安全操業、ひいてはエネルギーの安定供給に寄与するものである。

### 1-2-1 会誌等（一般誌、ホームページ(HP)）

- (1) 本会の様々な調査・研究活動の内容及び石油及周辺エネルギーに関しする最新事情を紹介する「ペトロテック」（一般誌）を月刊で12回発行する。
- (2) 本会HPを通して、本会活動の紹介や石油及び周辺エネルギーに関する様々な情報発信を行う。HPコンテンツの一層の充実及びWebによる会員始め閲覧者のサービス向上を図るため、独自サーバーの導入を検討する。また、前年度同様、学会活動を適宜新聞各社に紹介する。

### 1-2-2 講演会等（移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会）

- (1) 教育委員会において、移動大学「石油関連セミナー」を前年度に引き続き実施し、大学を中心に年間60回程度の講義を開催する。

#### (2) 支部講演会等

##### [北海道支部]

- 1) 平成24年7月に日本化学会北海道支部と夏季研究発表会（旭川）を共催する。
- 2) 平成24年10月に第5回実践的石油学講習を出光興産・北海道製油所（苫小牧）で実施する。
- 3) 平成24年12月に第13回北海道支部講演会（旭川）を企画し、実施する。
- 4) 平成25年2月に学協会北海道支部合同冬季研究発表会（札幌）を共催する。

##### [東北支部]

- 1) 平成24年10月11日(木)～13日(土)開催の秋田大会（第42回石油・石油化学討論会）において、実行委員会を組織し、支援する。
- 2) 平成24年11月に触媒学会東北地区講演会を共催する。

##### [東海支部]

- 1) 東海地区の石油精製会社及び石油化学会社の5製油所・事業所にて大学院生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。また平成24年9月にインターンシップ報告会を企画し、実施する。
- 2) 勉強会及び製油所見学会を企画し、実施する。

##### [関西支部]

- 1) 平成24年5月に研究機関・企業見学会を企画し、実施する。
- 2) 平成24年9月に第20回学生企業見学会を企画し、実施する。
- 3) 平成24年10月に第19回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 4) 平成24年12月に第21回関西支部研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催する。
- 5) JPIJS関西地区とセミナーを共催する。

##### [中国・四国支部]

- 1) 平成24年11月に第31回中国・四国支部講演会を企画し、実施する。
- 2) 平成25年2月に第17回中国・四国支部技術交流会を企画し、実施する。
- 3) 中国・四国地区の製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行うインターンシップ事業に協力する。

## [九州・沖縄支部]

- 1) 平成24年夏に第25回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施する。
- 2) 平成24年秋に第26回九州・沖縄支部講演会（北九州）を企画し、実施する。
- 3) 平成25年冬に第27回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施する。

## (3) JPIJS講演会

- 1) 平成24年5月25日(金)に第17回JPIJS若手研究者のためのポスターセッションを開催する。
- 2) 平成24年10月の秋田大会にてJSの依頼講演を実施する。
- 3) その他、全国においての活動は次のとおりである。

## [北海道・東北地区]

- ・平成24年7月下旬～8月上旬に第52回オーロラセミナーを触媒学会と共催する。
- ・平成25年2月上旬に北海道・東北地区講演会を開催する。

## [関東地区]

- ・平成24年10月下旬に産業技術総合研究所臨海副都心センターで講演会を開催する。

## [関西地区]

- ・コロキウムを日本エネルギー学会関西支部・石油学会関西支部と共催する。

## [九州地区]

- ・平成24年7月末に第23回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会を化学工学会九州支部と共催する。
  - ・平成24年秋に大分大学で講演会を開催する。
- 4) ペトロテックの「JPIJSだより」及びHPにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

## (4) 部会講演会

## [資源部会]

- 1) 平成24年7月に資源講演会を企画し、実施する。
- 2) 平成24年10月11日(木)、12日(金)に開催する第42回石油・石油化学討論会に協力する。

## [精製部会]

- 1) 平成24年10月4日(木)、5日(金)に26th JPI Petroleum Refining Conferenceを企画し、実施する。
- 2) 平成25年に第38回精製パネル討論会を企画し、実施する。

## [石油化学部会]

- 1) 平成24年10月11日(木)、12日(金)に開催の第42回石油・石油化学討論会に協力する。
- 2) 平成24年12月に第20回触媒シンポジウムを企画し、実施する。

## [製品部会]

- 1) 平成23年12月に2012石油製品討論会を企画し、実施する。
- 2) 潤滑油分科会では、エンジン汚れ評価に関するJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
- 3) 絶縁油分科会では、平成24年6月15日(金)に第32回絶縁油分科会研究発表会を企画し、実施する。

## [装置部会]

- 1) 平成24年11月26日(月)、27日(火)に第43回装置研究討論会を企画し、実施する。
- 2) 機器分科会では、平成24年10月17日(水)に第12回回転機研究討論会を企画し、実施する。
- 3) 設備保全分科会では、平成24年10月5日(金)に第25回設備保全分科会シンポジウムを企画し、実施する。
- 4) 計装分科会では、平成25年3月に第29回計装研究討論会を企画し、実施する。
- 5) 電気分科会では、平成25年3月に第12回電気研究討論会を企画し、実施する。

## 1-2-3 規格の制定・普及

## [製品部会]

試験分析分科会において、電位差滴定による灯油の過氧化物価試験方法の規格を制定する。また、試験分析に関するJPI規格について見直しを実施する。

[装置部会]

(1) 装置委員会

- 1) 機器分科会では、回転機専門委員会、機器WGによる機器分科会関係規格の見直し及び技術資料の作成を、前年度に引き続き実施する。
- 2) 配管分科会では、フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスケット専門委員会、管及び管継手専門委員会、及び配管基準専門委員会による関係規格見直し等の活動を、前年度に引き続き実施する。
- 3) 計装分科会、電機専門委員会では、計装技術専門委員会の活動としてアンケート調査等により、設備維持規格改訂作業への支援を行う。
- 4) 電気分科会では、電気専門委員会の活動として、安全・技術情報の収集、見学会の開催、維持規格改訂作業への支援を行う。

(2) 設備維持規格委員会

石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るために制定した設備維持規格について、定期的な追補及び改訂作業を実施する。

#### 1-2-4 設備維持管理士の資格付与

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する試験を行い、合格者に設備維持管理士の資格を付与する。また、規格内容に関する一般向け講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催する。

- (1) 平成25年1月に東京で、設備維持規格講習会（一般講習会）（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を実施する。配管・設備については、大阪でも実施する。
- (2) 平成25年2月17日(日)に東京及び大阪で、設備維持管理士認定試験（配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）を実施する。
- (3) 平成25年1月に東京で、設備維持管理士更新講習会（更新講習会）（回転機、電気設備、計装設備等）を実施する。
- (4) 平成25年2月に東京で、設備維持管理士更新講習会（更新講習会）（配管・設備）を実施する。

## 2. 研究・技術開発の支援

### 2-1 研究発表会、石油・石油化学討論会、論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、研究者、技術者の成果発表や情報交換の場として、研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催する。

2-1-1 平成24年5月25日(金)に東京にて第61回研究発表会を開催する。

2-1-2 平成24年10月11日(木)～13日(土)に秋田にて秋田大会（第42回石油・石油化学討論会）を開催する。

2-1-3 Journal of the Japan Petroleum Institute（論文誌）を隔月刊で6回発行する。本誌のオンラインジャーナル（Web公開）を冊子体刊行から2カ月後に発行する。

### 2-2 研究助成

石油及びその周辺エネルギー分野における研究開発の一層の推進を図るため、本分野に携わる若手研究者の研究奨励として、研究助成金交付事業を実施する。

前年度に続き、若手研究者及び部会への助成公募を行い、委員会において適格者を選考し、研究助成金を交付する。

### 2-3 表彰

石油及びその周辺エネルギー分野における研究、技術開発の一層の推進を図るため、本分野で顕著な業績を挙げた者又は組織を表彰する。

- (1) 石油学会表彰規程により表彰を行う。
- (2) 野口記念賞表彰規程により表彰を行う。
- (3) 国際交流賞表彰規程により表彰を行う。

### 【収益事業】

#### 1. 受託事業

「自動車の運転性調査」及び「ディーゼル車の燃料供給システム調査」を(株)石油産業技術研究所から受託し、本会製品部会内に設置した委員会においてそれぞれ調査を行い、報告書を作成する。本報告書の内容に関しては、委託元との契約により公表はされていない。

#### 2. 図書及び標準試料認定・販売事業

##### 2-1 図書販売

石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に、専門書、辞典、入門書を適宜、企画し刊行している。平成24年度は一部専門書の改訂を開始する。また、販売している以下の図書について出版社より販売部数に応じて販売手数料または印税収入を得る。

- 「石油精製プロセス」(1998)、「石油化学プロセス」(2001)、「石油辞典」(2005)、「石油がわかれば世界が読める」(2008)

##### 2-2 標準試料認定・販売

標準試料委員会において石油関連試験の精度維持向上に必要な標準物質を作成し、認定する。

- (1) 前年度に引き続き、重油硫黄分、重油窒素分、ニッケル・バナジウム分、FIA用、軽油硫黄分、標準ガソリン及び引火点の認証事業を行い、標準物質を委託販売する。
- (2) 分析技術の進展や需要を見ながら、新規認証及び認証中止の検討を行う。
- (3) 分析機器メーカーとの情報交換を行う。

### 【共益事業】

#### 1. 溶接士の認定事業

溶接士検定委員会において技量検定基準の見直し、全国規模での溶接関連情報の交換を前年度に引き続き実施する。石油学会溶接士認定証の発行業務は引き続き(社)日本溶接協会に委託する。

#### 2. 会員交流事業

- 1) 部会及び支部にて適宜、会員限定の勉強会、講演会を開催する。
- 2) 年会、秋季大会及び講演会の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催する。

### 【法人管理】

- (1) 平成24年度も前年度に引き続き会員拡大年間として入会金を免除し、会員の増強活動を積極的に推進する。
- (2) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を適宜開催する。  
理事会 (4回)、運営会議 (5回)、顧問会 (1回)、事業推進会議 (1回)、役員等候補者選定委員

会（適宜）、財務委員会（適宜）、職員人事委員会（適宜）ほか。

(3) 本会事務所の移転

事業活動の一層の強化と効率化を図るため、平成24年6月に事務所の移転を行う。

(4) 外部団体に対する協力

他学協会その他関連団体からの事業の共催・協賛などの要請に適宜、協力する。

【講演会、討論会、研究発表会ならびに見学会等の事業計画】

月	日	曜	名 称	開 催 地
平成24年				
5	24	木	第53回通常総会、第55回年会－受賞講演、特別講演、懇親会	東京 タワーホール船堀
	25	金	受賞講演、第61回研究発表会、JPIJSポスターセッション	
6	15	金	第32回絶縁油分科会研究発表会	京都 京都テルサ
7			資源講演会	東京
10	4 5	木 金	26th JPI Petroleum Refining Conference	東京 青少年総合センター
10	11 12 13	木 金 土	秋田大会－特別講演、第42回石油・石油化学討論会、懇親会 見学会	秋田 秋田キャッスルホテル
10	17	水	第12回 回転機研究討論会	東京 青少年総合センター
11	25 26	日 月	第22回日本－サウジアラビア合同セミナー	ダハラン KFUPM
12	8 9	木 金	第43回装置研究討論会	東京 青少年総合センター
12			2012石油製品討論会	東京
12			第20回触媒シンポジウム	東京
平成25年				
1	15 16	火 水	第14回日本－クウェート合同セミナー	アハマディ KISR
			第38回精製パネル討論会	東京
1	—	—	設備維持規格講習会（配管・設備）	東京、大阪
1	—	—	設備維持規格講習会（回転機、電気設備、計装設備）	東京
1	—	—	設備維持管理士更新講習会 （回転機、電気設備、計装設備）	東京
2	17	日	設備維持管理士認定試験 （配管・設備、回転機、電気設備、計装設備）	東京、大阪
2	—	—	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京
3	—	—	第13回電気研究討論会	東京
3	—	—	第29回計装研究討論会	東京

以上